



SSKU

みんなな輝け

—かがやけ共同作業所ニュース— No.193

編集 (社福) かがやけ福祉会 〒124-0021 葛飾区細田3-5-3
電話:03-5668-1146/FAX:03-5668-1147/電子メール:kagayake01@jcom.zaq.ne.jp
<https://kagayakefukushikai.or.jp/>



表紙	:かがやけ共同作業所なかままつり/かがやけ第2共同作業所にいじゅくまつり/法人新年会の様子
2ページ	:長田うめ子理事長新年のご挨拶/かがやけ共同作業所 送迎車購入
3ページ	:きょうされん40周年記念映画「夜明け前」表面
4ページ	:きょうされん40周年記念映画「夜明け前」裏面
5ページ	:かがやけ共同作業所 秋のなかままつり/かがやけ共同作業所新年会
6ページ	:かがやけ第2共同作業所 いじゅくまつり/かがやけ第2共同作業所新年会
7ページ	:グループホーム合同クリスマス会
8ページ	:エタンセール初詣/新人職員紹介/募金報告/編集後記

理事長新年のご挨拶

平和な日々へ ひとり一人が大切にされる社会へ

2026年が明けました。日頃よりかがやけ福祉会に暖かいご支援、ご協力を頂きありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年2025年は戦後80年という節目の年。平和だからこそひとり一人が輝いた人生を送れること。戦争を体験してしまつた方々が「二度とおこしてはならない」と語るその重みの一言一言を私たちは引継ぎ、平和を守っていく事が本当に大切だと思います。

ノーベル平和賞に輝いた日本原水爆被害者団体協議会の活動。核兵器廃絶、平和の尊さを訴え続ける、その長い活動が認められ、その訴えは多くの人々の心に届きました。しかし、世界では今も戦争が起こり、多くの人が亡くなり、家族がバラバラになり、傷ついている方が大勢いること。とても悲しい現実があります。私たちはその現実を思いを寄せ、そして日本で起こつた悲惨な戦争の歴史に向き合い、そして今日本でのようなことが起こっているのか、どこへ日本の社会は向かっているのか、社会の矛盾はどこにあるのだろうかとか考へる事、行動すること、小さなことでもひとつ一つ積み上げていくことが、平和への道へと繋がっていくのだと思います。

私たちがやけ福祉会は障害のある人たちのひとり一人の命と尊厳を守り、日々活動しています。

その歴史は無認可時代から数えると46年になります。そのころの障害者運動の広がりとともに、どんなに重い障害のある人でも「働ける場を作ろう、地域での暮らしの場を作ろう」と障害のある人の願いの実現に向け、奮闘し、事業所も働く場、暮らしの場と広げてきました。障害者権利条約も日本では、2014年に批准し10年。障害のある方たちの人権が大きく前進してきていることは大きな力となっています。設立当初からいる利用者の方も還暦を迎え、人生を生き生きと過ごされています。

しかし、社会福祉の現場は今窮地に立たされています。深刻な人手不足、障害福祉の基本報酬の低さ、そして成果主義の加算制度は事業所の存続をも脅かしています。成果主義は命を守る現場にはふさわしくありません。

2026年、この窮地をどう切り抜けるのか。大きな課題です。障害のある人、家族、そして働く職員を守るためにどうしていくのか。かがやけの歴史の土台をしっかりと踏みながら、一つ一つの支援、実践を大切に積み上げ、かがやけの理念、「みんなが輝く社会へ」前進していくことが今まさに求められているのだと思います。

ひとり一人の人権、尊厳が大切にされ、ひとり一人が輝く社会へと皆さんとともに歩む2026年にしていききたいと思えます。

（文責） 長田 うめ子

送迎車両購入しました

新宿コースで使用していた車両が登録後13年

経過し、走行距離も10万キロを超え老朽化がすすんでいたため、葛飾区の「夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の助成をいただき新車を購入しました。車いす乗車数も2台から4台に増え、衝突防止装置や後進時に車体の全方位が確認できるアラウンドビューモニター等が装着されており安全性も向上しました。なかまの方たちも「わー新車の匂いがするー！」と笑顔で乗車しています。

（文責） 古畑 宏幸



公益財団法人 日本精神衛生会/きょうされん 40周年記念 提携事業
『精神病患者私宅監置ノ実況及ビ其統計的觀察』刊行 100周年記念

文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年



我が国十何万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸の外に、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし。
精神病患者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と謂はざるべからず。 呉秀三

今井友樹監督作品

ナレーション 竹下景子

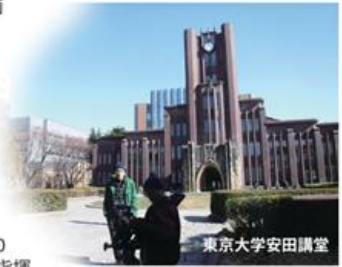
企画 藤井克徳/監修 広瀬徹也
プロデューサー 中橋真紀人/撮影 小原信之/編集 古賀陽一
協力 一般社団法人 障害者映像文化研究所/バリアフリー版制作 Palabra株式会社
製作協力 株式会社 工房ギャレット
製作 記念映画製作委員会 公益財団法人 日本精神衛生会/きょうされん/有限会社 イメージ・サテライト
ドキュメンタリー/2018年/66分/BD

心を病んだ人々は、なぜ閉じ込められなければならないのか？ 精神の病とは...、人間の尊厳とは...、いま突きつけられる問いかけ！



松沢病院の呉秀三胸像

呉秀三（くれしゅうそう）は、今から百年前の時代に東京大学医学部精神科の教授として、異例の社会的な取組みを進達者先である。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走した。その土台となった報告書『精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察』を1918年に提起し、多方面へ働きかけた。それから1世紀の年月が過ぎた今、精神障害者の問題はどうか？ 精神障害者をめぐる問題は一つの国の在り方を左右する重大なものであり、欧米でも改革が進められている。何故なら、



東京大学安田講堂

人口の1%プラスアルファが精神疾患を発症するという前提のもと、全ての国民が理解と対処を迫られているからである。しかし、古い時代から現在に至るまで、精神病は誤解と偏見、差別の対象となり、この病を持つ人々と家族は苦しみと犠牲を強いられている。2017年12月の「寝屋川市監禁死亡事件」、2018年4月の「兵庫県三田市監禁事件」の報道は、多くの人々に衝撃を与えた。しかし、このような事例はまだ少なからず存在すると関係者は指摘する。こうしたタイミングで、この課題に一貫して取り組んできた精神医療保健の専門家組織である公益財団法人 日本精神衛生会と、障害者福祉の土台を支えて40周年を迎える きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）が提携して制作したのが本作である。

長編第1作『鳥の道を越えて』で高い評価を得た今井友樹監督（工房ギャレット代表）が、先輩である小原信之カメラン（民俗文化映像研究所代表）とタッグを組み、2003年の記録映画の最優秀作として注目を集めた夜間中学の



資料館の「拘束具」



海外ロケ（ウィーン）

記録映画『こんばんは』（毎日映画コンクール記録文化映画賞／文化庁映画大賞）の編集を担った賀陽一編集マンを迎え、その『こんばんは』、重度重複障害児を育てる家族を描いたアニメ『どんぐりの家』（きょうされん20周年／山本おさむ原作・脚本）や、精神障害者の社会復帰を描く劇映画『ふるさとをください』（きょうされん30周年／脚本：ジェームス三木）で指揮をとった中橋真紀人プロデューサー（イメージ・サテライト代表）のもとでパッションとパワーを注いだ。

呉秀三研究の第一人者・岡田靖雄先生（精神科医療史研究室代表／元・松沢病院医師）、「座敷牢」問題の調査研究を続ける橋本明先生（愛知県立大学教授）、日本の精神科医療のトップに位置する都立松沢病院の齋藤正彦院長というキー・パーソンへのインタビューを軸に構成された本作品は、これまでの100年を見つめ直し、これからの100年を考える貴重な映像的素材と言えるだろう。

作品の中に登場する資料には、現存する2冊のみの「私宅監置」報告書（1冊は岡田先生の手元に、もう1冊は国会図書館！）、呉秀三の初めての著作の初版本、家族にあて欧州から送った絵葉書（既に所在不明!?）、秘蔵されていた数枚の写真（東大医学図書館に保管）などがある。日本で初公開！呉秀三の欧州留学先での足跡——彼が1900年前後に留学・視察したベルギーとオーストリア（ウィーン大学）に残されている「自筆の署名」を求めて海外ロケを敢行し、彼の下宿アパートもカメラに収めてきた。

今井友樹監督作品

夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年

[ドキュメンタリー／2018年／66分]

勇気をもって前へ

立教大学教授 香山リカ 一つの時代も、社会を前に進めるのは、ひとりの気づきとそれに触発された大勢の仲間たちです。いまも心の病を持つ人たちが正しく理解され、その人権が十分に守られているとはとても言えません。しかし、彼らが私宅監置などのもっとひどい処遇をあたりまえに受けていた時代に、呉秀三はそのおかしさに気づき、病者に治療と福祉の光をあてようとしたのです。私も本作から多くを学び、勇気づけられました。



夜明けを迎える一助として

きょうされん専務理事 藤井克徳 「呉秀三を正確に知ってほしい。本映画企画の最大の動機です。あの『座敷牢調査』から100周年という節目の力を借りて伝えたかったのです。呉秀三の言動が現代日本にして何ら色あせることなく、そっくり今に通用しており、「この国に生まれた不幸」は、見方によっては当時よりも真に迫っているのではないのでしょうか。呉秀三の言動が名実ともに古めかしく感じられる社会をどう作っていくか、障害当事者や家族の一人ひとりが本当の夜明けをいかに実感できるか、本映画がその一助になることを願っています。

(日本精神衛生会理事)

日時 2026年 2月6日(金) 18:00~19:30 (開場時間17:30)
 場所 かがやけ第2共同作業所 住所/葛飾区新宿1丁目1-15 TEL/03-3607-3180
 料金 無料
 主催法人
 (社福) かがやけ福祉会 TEL/03-5668-1146 担当波岡 (なみおか)
 (社福) アムネかつしか TEL/03-5698-8293 担当奥村 (おくむら)
 (NPO法人) SIEN TEL/03-6848-5491 担当石川 (いしかわ)
 問い合わせ かがやけ共同作業所 TEL/03-5668-1146 FAX/03-5668-1147
 Mail:kagayake01@jcom.zaq.ne.jp 担当波岡 (なみおか)

かがやけ共同作業所 秋のなかまつり

11月15日(土)に、秋のなかまつりを開催しました。今年も皆様のご協力のおかげで無事に開催することができました。おまつりの準備を進めていく中で、各班に模擬店で出店したいもののアンケートをとり、おまつり担当の仕事委員会のなかまの皆さんとの話し合いでは、各班から集まったアンケートから模擬店で出店するもの、おまつりのテーマを考えていきました。今回のテーマは、「なかまの笑顔」、「なかまの頑張り」となりました。

各班で、お仕事をしている風景を写真に撮って頂いたり、頑張りたいことを紅葉に書いていただきました。事前の準備から、皆さんとても張り切って取り組んでいました！当日も、「焼きそば食べました！美味しかったです！」、「お好み焼きにフルーツに…」と、食べた模擬店の話しや、バザーコーナーでお気に入りの靴や洋服を購入された方も居たようです。「おまつりで買ったんだよー！」と嬉しそうに伝えてくれました。

おまつりが終わってからすぐに、「楽しかった！来年もおまつりでできると良いなあ」と、次のおまつりを楽しみにされている様子も見られました。今後も、なかまの皆さんと一緒に楽しく素敵なイベントが開催できると良いなと思っています。おまつりにご協力いただきました、ボランティア・地域の皆様、団体・企業の皆様、心から感謝申し上げます。

(文責 須之内 彩音)



かがやけ共同作業所 法人新年会

かがやけ共同作業所では成人を迎えた巻かのんさん、還暦を迎えた宮城高志さん、喜寿を迎えた長橋恵美子さんの計3名が祝われました。

長く通所されている方だけでなく、人前が苦手な方も手紙や花束等の贈答に、オンラインの画面にその素敵な笑顔を見せていただけたのがとても印象的でした。

昼食はかがやけ第2共同作業所調理班・お菓子班が朝早くから準備をしてくれたお弁当とプリン、

そしてスープ。かがやけ共同作業所のなかまからは「おいしい」の感想だけでなく、「スープもあるんですか!？」と喜びの声が。

午後は新人職員の紹介の後、利用者対抗のゲーム、クイズが行われました。空気砲ゲームはみなさん作戦を話し合いながら準備、職員や仲間の応援のもと、順番に箱を叩いていきました。特にかがやけ第2共同作業所の方は全力で箱を叩いて、終わった後は疲れていたようです。また、なかまクイズでは、対象となったなかまの方達の一面が見れて面白いものになっており、中には当事者が知らない裏話が入っていて驚かれました。

前日に大寒を迎え、「寒い!」という声があちこちから聞こえていますが、かがやけのなかまは暖かい一日を過ごしました。

(文責 廣瀬 清隆)



かがやけ第2共同作業所にいじゅくまつり

かがやけ第2共同作業所では、昨年10月26日(日)に「第18回みんなかがやけ!にいじゅくまつり」を開催しました。当日はあいにくの雨予報となり、全ての模擬店を屋上から室内に移すなどバタバタの準備となりましたが、いざ始まってみると晴天時と変わらないたくさんのお客様にご来場いただくことができました。

今回は、チンドン屋さんや葛飾のご当地ヒーロー「ゼロングハヤト」をゲストに迎え、スライムやお面作りのワークショップ、子ども縁日や第2作業所の授産品販売、模擬店やキッチンカーなど盛り沢山の内容で、地域のお客様だけでなく、おまつりを運営する側のなかま・保護者・ボランティア・職員にとっても思い出に残る、楽しい一日となりました。また、来場された地域の方からは「皆の頑張っている姿にいつも力をもらっている」といった温かい言葉を多くいただき、なかまの応援が増えていることを実感する嬉しい機会となりました。

おまつり当日にご来場いただいた皆様、お手伝いに来ていただいた皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



(文責

高橋 知子)

かがやけ第2共同作業所 法人新年会

1月21日(水)、かがやけ第2共同作業所で法人新年会が開催されました。成人を迎えた佐々木円夏さん、古希を迎えた佐藤千恵子さん、吉田留男さんの計3名が祝われました。

佐々木さんの幼少期の写真やご両親からのお手紙に会場は感動し、佐藤さんと吉田さんの古希のお祝いでは、入所間もない頃の写真や仕事の風景写真を見ながら、今後の健康への意気込みが語られました。誰もが楽しみにしている昼食は調理班が手間をかけて作った豪華な九折弁当でした。さらにデザートプリンまでついて大好評でした。空気砲ゲームや、お祝いされた方々に関連するク



イズで盛り上がり、第2共同作業所では職員による「プチシュー酸っぱいのは誰?」「不味いチクワを食べたのは誰?」「ゲームでさらに盛り上がりました。プチシューにはレモン汁、チクワには生クリームが詰め込まれ、職員のリアクションに会場は笑いに包まれました。最後は「栄光の架橋」を合唱し、幕を閉じました。古畑常務理事は来年は対面開催を希望し、第1と第2でも久しく会っていないことから、「会いたいね」という声も上がりました。

(文責 小室 径)



グループホーム合同クリスマス会

12月13日(土)クリスマス会としてはやや早い日ではあるもののすっかり冬の装いの一日の朝から、燦燦と輝く太陽を浴びながら思わず咳く。

「眩しい…」

朝日が昇る時間も遅くなり、寒さが厳しい中、起き抜けの頭を起こすように思案する。本来はエタンセール、フュチュール、ラヴァンスの3ホーラムが第2作業所に集まっの開催となる予定だったが様々な事情もありエタンセール、フュチュールとラヴァンスの二手に分かれZOOMを使用しオンラインで繋ぐ事になった。急遽の変更等もあり万全な準備が出来ているとは言えない状況と思うとフュチュールに向かう足が重くなるのである。

ピザ、サラダ、ポテトフライ、から揚げ、ローストビーフ、色とりどりの料理が並ぶテーブル。利用者の方たちは席に着き会の始まりを今か今かと待ち望んでいるようだ。グラスに飲み物を注ぎ、オンラインの準備を整えてエタンセールの土持さんに乾杯の音頭を取ってもらう。

「乾杯！」

元気の良い発声を皮切りに方々からグラスを合わせる音が響き渡る。用意された食事に舌鼓を打ちながら会話に花を咲かせているとあっといいう間に時間が過ぎていく。気づけば食事が一通り終わりお楽しみのケーキである。チョコ、クリーム、抹茶、チーズ等、多種多様なケーキが用意され、食べたい物を選んでいくのだが、意外にもみな迷うことなく選んでいて驚いた。私だったら決めき

れずに2つは食べてしまいそうである。

ケーキを食べ終わると終わりではなく、むしろここから本番。そうクリスマスプレゼントである。ビンゴゲームを行ないビンゴが完成した人からサンタクロースからのプレゼントがもらえるのだが、肝心のサンタがいらないではないか。私は急ぎ、フュチュールを飛び出しサンタを呼びに行つた。だがついに見つける事はできず、意気消沈してフュチュールに戻ると私がいらない間にサンタが来てプレゼントを配り颯爽と去って行ったというではないか。

「サンタ来てたんだって？」

「来てたよ。すれ違わなかった？」

そうか。もしかして私は一年いい子にしていなかったからサンタは会ってくれなかったのかもしれない。来年は会えるように清く正しく生活していかななくてはならないなと思いを新たにし、来年は誰かにやつてもらおう事を決意したのである。

プレゼントも配り終え、フュチュールのリビングで皆が良い笑顔で歌を歌っている。

思い通りにいかなかった部分も多々ある。予定通りに第2作業所でエタンセールの皆も集まれたらもっと盛り上がったのだろうかと思ってしまう。だが、それでもこのキラキラした笑顔を見ると口が綻び、思わず声に出してしまう。

「眩しいな——」

(文責 佐藤 哲也)



エタンセール初詣

明けましておめでとございます。今年もよろしくお祈りいたします。

新年を迎え、お正月は過ぎましたが、エタンセールでは1月12日(月)成人の日に、東水元にある南蔵院へ初詣に行ってきました。しばらく地蔵尊で有名なお寺ですが、エタンセールでは毎年新年のお参りでお世話になっていきます。気温が低く寒さも感じられたものの、気持ちの良い冬晴れとなり、今年最初の外出日和に恵まれました。

境内は参拝客の方も多くなく、ゆっくりお参りすることができました。難病平癒、縁結びなどの諸願成就に霊験があるとされるしばらく地蔵、皆さんは何を祈願されたのでしょうか。健康に、そして穏やかに、楽しい年を送れますように。

お参り後は、近くの夢庵に寄りランチ外食をしました。デザートまで満喫して、2026年最初の外出を楽しみました。寮でもオリジナルの絵馬を用意して、それぞれの願いを掲げています。皆さんもエタンセールへ来られた際にはぜひ！

(文責 上村 健太)



新人職員紹介

かがやけ第2共同作業所

はじめまして。7月から、かがやけ第2共同作業所の栄養士となりました、内田夏菜(うちだかな)です。なかまや先輩方と日々を楽しみながら成長していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



^^ かがやけ募金報告 ^^

2025年10月16日

2026年1月8日

募金【62,047円】でした。

あたたかなご支援、

誠にありがとうございます。

【編集後記】

1月2日に雪が降りましたね。外に出てみると毎日見ている景色なのになんだか違う場所のよう木の枝にこんもりと雪が積もっている様子は冬の情景そのものでした。思わず手に取った雪は冷たく、全身で冬を感じました。

小さい頃、雪が降ると嬉しくて外に出ていき、雪の結晶を探してじっと目を凝らしたことを思い出しました。いつの間にか、暖かな家のなかから雪を眺めて考えるのは、電車が遅れるかな？自転車に乗れるかな？とかそんなことばかり。今年の雪は私自身が休み中であつたこともあり、少し違った気持ちで見られたのかもしれない。

2026年、新たな年の始まりです。日々の忙しさにたくさんのお見逃し、通り過ぎてしまっているように思います。ふと立ち止まって、周りを見回し、周囲の音をきき、季節を感じる。そんな心豊かな時間をもてる一年にしたいですね。

(かがやけ第2共同作業所 前川 冴子)

